

# 福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

社会福祉法人 恩賜財団神奈川県同胞援護会  
衣笠愛児園

平成29年12月11日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

ホームページでの評価結果公表様式

## 福祉サービス第三者評価結

事業所名 衣笠愛児園

発効：平成29年12月11日（2020年12月10日まで有効）

株式会社フィールズ

## 第三者評価結果

### 事業所基本事項

フリガナ	キヌガサアイエン
事業所名 (正式名称を記載)	衣笠愛児園
事業所住所 最寄駅	〒238-0032 神奈川県横須賀市平作 8-14-1 JR 衣笠駅下車 徒歩 15 分 または 京急 汐入駅からバス 10 分 バス停から徒歩 5 分
事業所電話番号	046-851-2214
事業所 FAX 番号	046-851-0198
事業所代表者名	役職名 施設長 氏名 清水 美緒
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人恩賜財団神奈川県同胞援護会 法人代表者氏名 加茂坂 幸昌
URL	<a href="http://www.kanagawa-doen.jp/kinugasa-aijien/">http://www.kanagawa-doen.jp/kinugasa-aijien/</a>
問合せ対応時間	7 : 00 ~ 19 : 00 (土曜 7 : 00 ~ 16 : 00)

### 事業所の概要 1

開設年月日	昭和 24 年 6 月 25 日
定員数	90 名
都市計画法上の用途地域	第 1 種住居専用区域
建物構造	鉄筋コンクリート造り 2 階建て 1 階部分
面積	敷地面積 ( 1937.67 ) m <sup>2</sup> 延床面積 ( 534.36 ) m <sup>2</sup>

### 事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	29 名
うち、次の職種に該当する職員数	施設長 ( 1 名) 副園長兼主任 ( 1 名) 保育士 ( 22 名) 栄養士 ( 1 名) 事務員 ( 1 名) 調理員 ( 3 名)

### 事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 2 ヶ月 ~ 小学校就学未満	
延長保育の実施	有 ・	備考 :
休日保育の実施	無	備考 :
一時保育の実施	無	備考 :
障害児保育の実施	有 ・	備考 :
病後児保育の実施	無	備考 :

### 保育方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温かい雰囲気の中で子どもたちが安心して生活できる場を提供し自己を発揮できるように見守っていきます。</li> <li>・ 一人ひとりの成長段階を踏まえ見通しを持った計画のもと保育を行っていきます。</li> <li>・ 安全、衛生管理の見直し改善を行い子どもが安心・安全に過ごせる環境を整備していきます。</li> <li>・ 地域の方との様々な触れ合いを通し社会性を身につけていきます。</li> <li>・ 計画的に食育を実践し食べる事の楽しさを十分味わえるようにしていきます。</li> </ul>
---

## 第三者評価結果

### 1. 総合コメント

#### 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

##### <施設概要>

衣笠愛児園はJR衣笠駅より徒歩15分程、または京急バス「平作」バス停下車、徒歩5分程の住宅地の坂の上にあります。昭和24年に開設して今年で68年になる歴史の深い園です。園は三浦半島の中央に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれています。近隣には菖蒲園や平作川、多くの公園があり、四季の移り変わりが楽しめます。広い園庭にはイチヨウやブドウの木が植えられていて、子どもたちは自然にふれながら、元気に園庭で遊んでいます。

定員90名で生後57日の乳児から受け入れ、現在108名が在籍しています。子ども一人ひとりを大切に安全に保育し、保護者が安心して預けられることをサービス提供の基本にしています。地域との交流を大切にして、近隣の高齢者や地域の子育て家庭との交流を展開しています。

運営は法人設立70年を迎える社会福法人恩賜財団神奈川県同胞援護会で、県内で多数の福祉施設経営を展開しています。

##### <優れている点>

#### 1. 地域に根付いた園として世代間、子育て支援の交流を積極的に展開しています

保育方針の一つに「地域の人との様々なふれあいを通し、社会性を身につける」を掲げています。近隣の高齢者や、子育て家庭に向けて7年ほど前から取り組みを始めました。高齢者との交流「ほのぼのくらぶ」、未就園児との交流「にこにこくらぶ」を年間予定として組み活動を展開しています。

高齢者グループホームやデイサービスに4・5歳児が訪問して手遊びや歌、ダンスなどを披露しています。子どもたちの訪問を歓迎してもらい、握手をしたり話をしたりするふれあいの機会はとても喜ばれています。また、同施設2階にある診療所の入院患者誕生会への出席や町内会館での高齢者との交流、園に近隣の高齢者を招待する「ふれあう会」といった世代間交流を通して、優しく接して感謝される経験を積み重ねて人とかかわる楽しさ、大切さを感じています。

「にこにこくらぶ」はホームページや近隣の商店などにポスター掲示を依頼して情報提供をし、4月、8月を除いて毎月1回実施しています。毎回1・2歳児を中心に2～5組ほどの参加者があります。参加の子どもと同年齢のクラスに入って、水遊びや散歩、戸外遊びなどで子ども同士の関わりを楽しみ、保護者同士の交流の場にもなっています。希望者には給食の試食も出来るようになっています。

#### 2. 栽培・食育年間計画に沿って食べることを楽しめる活動を取り入れています

園庭の端には畑があり、園舎の日陰部分にはシイタケが発生する木が置かれています。栽培・食育の年間計画及び実施記録にはねらいの一つに「収穫した野菜に親しみを持ち、調理体験・給食の食材として調理してもらい味を楽しむ」と記載されています。

各年齢の年間・月間指導計画には食育欄が設けられており、年齢や季節に応じた野菜を栽培し、収穫して調理をするまでの様々な取り組みが記載されています。5月には園庭でそら豆を育て、収穫後に給食で使うための皮むきをしました。8月には畑で育てたスイカをみんなで分けて食べ、トウモロコシの皮むきを行い、4歳児クラスではピザパンを作り給食室で焼いてもらいおやつに食べました。

様々な体験を通して子どもたちは植物や野菜に関心を持つようになっています。栽培・食育によって食べることの楽しさ、大切さを学んでいます。

### **3. 保護者を支える保護者支援に力を入れています**

園は保護者の応援団として保護者の困りごとに耳を傾け、可能な限り実施を試みています。園は坂の上にあります、広い駐車場も備えていて、保護者の多くが車で子どもの送迎をできるようにしています。保護者の要望に応じて、今年度に駐車場を拡充して30台ほどの駐車スペースを整備して、保護者の車で送迎に利便性を図っています。

また、昨年度より、乳児の使用済みおむつの家庭持ち帰りを廃止して、園内で処分するように変更しています。3歳児クラスから使用している園児服（体操服）について、卒園児の保護者に使用可能なものの寄付を依頼しています。服はリサイクルとして在園児で希望する方に仲介をするなど、保護者負担の軽減に努めた園運営を行っています。

#### **<独自に工夫している点>**

##### **1. 安全、楽しく過ごせるように設備環境への配慮がされています**

現在の園舎は昭和42年に建てられ、50年目を迎えます。2階には診療所が併設されているため、改修・改築にも制限がある状況です。老朽部分などは少しずつ手直しをして、明るく、安全に過ごせるように努めています。

バリアフリーの部分がほとんどですが、鉄筋コンクリート造りのため、段差が残ったり、コンクリートの部分があります。職員は段差部分にマットを敷き、コンクリートのテラスにはクッション性があるプラスチック素材のマットを敷くなど工夫をして、安全への配慮をしています。

また、4・5歳児クラスは引き戸によって仕切られていますが、中央部分は黒板として使えるように黒板素材が張られています。子どもたちは自由に絵を描いたり、落書きしたり、職員は掲示板としても使うなどして利用しています。随所に工夫や配慮があり現状の施設設備を上手に活用しています。

#### **<改善すべき事項>**

##### **1. 園独自マニュアルに目次や作成・改訂年月日などを整備することが期待されます**

園では法人作成のマニュアルに加えて、園独自のマニュアルを「衣笠愛児園業務マニュアル」として、全職員に配付しています。業務マニュアルには安全管理に関するものや接遇、虐待防止対応、土曜保育、事故対応、アレルギー対応など様々なマニュアルを整備しています。職員は朝番の受け入れや土曜保育についてなど、確認や見直しが必要になった時に活用し、その際に改訂もしています。

しかし業務マニュアルには目次が設けられておらず、作成者や作成年月日、改訂日などの記載がないものも数多く見受けられます。どのマニュアルが最新のものか、目次などで活用しやすいものとなるように、整備することが期待されます。

評価領域ごとの特記事項		
1	人権への配慮	<p>① 園長は日々の打ち合わせでの個別指導や職員会議の場でも人権への配慮について職員に周知しています。新入職員については、法人が実施する初任者研修のなかでも説明しています。職員は「横須賀市人権施設推進指針」、「児童福祉施設の設備等に関する条例」、「職員の心得」及び「接遇マニュアル」などに基づいて、子どもや保護者に安心と信頼と得られるように公平で誠実な態度で接するように努めています。</p> <p>② 職員は会議などを通じて、どのような行為が出生や国籍、性差などによる差別になるのかなどを理解しています。子どもも、生活習慣や文化の違いなども受け入れて一緒に過ごしています。万が一子どもや保護者とのやりとりにおいて不適切な対応があった場合は、ケース会議などで対応を検討し、改善に繋げる仕組みができています。</p> <p>③ 個人情報の保護については、法人の「個人情報保護に対する基本方針」や「職員心得」で個人情報の取り扱いについて留意しています。職員は採用時に「個人情報に関する誓約書」を提出しています。実習生についても受け入れ時に知り得た情報を他に漏らさないように説明し、誓約書を得ています。また、児童票や個別指導計画などの資料についても、施錠できる保管庫で厳重に管理しています。</p>
2	意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	<p>① 保育園での子どもの様子を「園だより」、「クラスだより」、写真などで知らせるとともに、保育室の入り口にボードを設置して、その日の活動内容について記載して送迎の保護者に情報を提供しています。連絡帳や送迎時の保護者との会話を通じて子どもの様子などの情報交換を行っています。</p> <p>② 全園児に連絡帳を使って家庭との連携を密にしています。年齢に応じて、必要な情報や子どもの成長の様子を交換できるように3種類を使用しています。0歳児は園所定の様式のものを使用し、詳細に記録し、1週間分をコピーして保護者に返却しています。1歳児は全体の様子や、食事、睡眠、排便などを記載したノート式、2歳児からはノート式のものに特記事項や必要事項を記載しています。連絡帳には万一の紛失などを考慮して、重要な個人情報は記載しないように職員、保護者の両方で注意しています。</p> <p>③ 保護者の希望や意向を把握するために、年1回の個人面談や年2回のクラス懇談会を開催しています。把握した情報は職員間で共有し、対応を検討しています。また、年1回保護者アンケートを実施して保育園の運営や行事についての要望などを聴き、改善に役立てています。アンケートの結果は保護者に公表するとともに法人本部に報告し、法人の施設長会議でも報告しています。</p> <p>④ 0歳児クラスでは子どもとの愛着関係を築き、情緒の安定を図るために子ども一人ひとりについて担当保育士を決めています。担当する複数の子どものついて計画を立て、年間を通しての発達を把握して適切な援助ができるようにしています。日常の支援については担当保育士を中心として、クラス担当の保育士みんなでも対応しています。幼児クラスは縦割り年間計画をもとに、週1度ほど縦割り保育を実施しています。縦割りのグループは日課の内容によって、2グループや3グループに分かれて活動しています。近隣の公園への園外保育や朝の体操、畑の手伝いなどを縦割りで行っています。</p>

3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>① 子どもや保護者などからの希望や相談は、日常の保育活動を通して把握しています。苦情が発生した場合は「苦情対応の手順」や「衣笠愛児園入園のしおり」の『苦情解決について』をもとに対応しています。入園のしおりには相談・苦情責任者、相談・苦情受付担当者及び第三者委員と苦情解決の手順を紹介しています。苦情や要望は「苦情・要望・受付書」で受付から対応の結果までを記録しています。苦情については、本部にも報告する仕組みになっています。</p> <p>② 保育園内の環境管理については、マニュアル「室内の環境管理」により、保育室内の室温を夏場は26度から28度、冬場は20度から23度、湿度は40%から60%に定め、定期的にチェックしています。冷暖房中は2時間から3時間ごとに5分から10分換気を行うことを定め、実行しています。また、室内の棚・ロッカー、床などの設備や備品などについてもクラス別に定めた「安全点検チェックリスト」で、毎月安全点検を実施しています。玩具の消毒についても「玩具の消毒資料」でクラス別、玩具別に細かく定めて消毒を実施し、清潔を保っています。</p> <p>③ 災害時に対応した「防災マニュアル」や「衣笠愛児園消防計画」などに則り、災害時の対応や役割分担を定めています。また、年間避難訓練計画に基づいて、毎月、様々な場面、時間帯、少ない職員体制などを想定して訓練を実施しています。緊急時には、予め同意を得てメール配信を登録した保護者には、「一斉メール（まちcomiメール）」で保育園から保護者へ情報を提供する仕組みがあります。また、職員向けには「職員向け安否確認サービス」で職員の状況を確認する仕組みがあります。</p> <p>④ 食物アレルギー疾患のある子どもへ、きめ細かい対応をして誤食の防止に努めています。保護者から医師の診断書と生活管理指導表を得て、除去食または代替食を提供しています。保護者、担任、栄養士、園長で随時、面談を行い、情報を全職員で共有しています。数種類のアレルギー献立表を作成し、調理器具も別にしてしています。いくつもの種類に分けて細心の注意を払って調理しています。食事時は個別のテーブル付き椅子や専用の食器を用意して保育士が付き添い、複数回の声出し確認を行って誤食防止に努めています。</p>
4	地域との交流・連携	<p>① 保育園は地域との交流を年間計画に組み入れて積極的に行っています。地域の未就園児と保護者を保育園に招く「にこにこくらぶ」は、未就園児が同年齢のクラスで楽しく遊ぶ場と母親同士の交流の場を提供しています。ホームページや地域の商店などにポスターを掲示して呼びかけて、4月と8月を除く毎月開催しています。毎回1歳児と2歳児を中心に2組から5組が参加し、水遊びや散歩、戸外遊びなどで子ども同士の関わりを楽しんでいます。希望すれば給食の試食もできます。また、「にこにこくらぶ」参加後には、参加者にアンケートを実施し、子育て相談や今後の活動の参考にしています。</p> <p>② 地域の高齢者と主に5歳児が年6回、一緒に近くの町内会館に出向き、様々な遊びで交流を深める「ほのぼのくらぶ」を開催しています。また、4歳児と5歳児が近くのグループホームやデイサービス3ヶ所を訪問し交流しています。手遊び、歌及びダンスを披露し、握手や触れ合っただけの交流はとても喜ばれています。</p>

		<p>③ 11月の保育園行事として近隣の高齢者を保育園に招き、子どもと一緒に過ごす「ふれあう会」を開催しています。子どもが歌や踊りを披露して、一緒にカレンダー作りなどをしています。また、保育園と同じ建物の2階で同じ法人が運営する診療所に入院している高齢者の誕生会に4歳児と5歳児が訪問し、歌や誕生日カードをプレゼントし、患者や家族にも喜ばれています。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>① 毎年、職員全員が園長と面談を行い、前年度に個人が設定した個人目標の遂行状況を振り返るとともに、次年度の個人の保育目標や受講したい研修などを提示して次年度の個人目標を設定しています。職員個人の振り返りや目標などから保育園全体の自己評価を行うとともに、次年度の目標設定を行っています。</p> <p>② 職員の個人計画の振り返りのなかから、写真や園児服のリサイクル方法の変更についての提案がありました。写真の販売については、業者を通じてのインターネット販売方式に変更するとともに、園児服のリサイクルの回数を増やすなど改善に取り組んでいます。</p> <p>③ 園ではホームページを活用して保育園の情報を公開しています。ホームページには保育目標や保育方針、施設の詳細、施設の沿革、1日の保育の流れ、行事及び地域交流などについて公開しています。</p> <p>④ 保育参観はいつでも受け入れ可能です。懇談会開催時に合わせて保育参加も行っています。子どもと一緒に過ごし、一緒におやつも食べています。また、誕生会の際には誕生児の保護者が来園し、誕生会と一緒に参加することもあります。希望者は給食を一緒に食べることもできます。</p>
6	職員の資質向上促進	<p>① 保育理念は事務室に掲示し、保育目標は保育室に掲示して周知しています。また、「園のしおり」にも掲載し、保護者にも周知しています。理念は法人の研修や年4回発行している法人の機関誌「クオーターリー」にも掲載しています。職員会議などで保育方針に繋げて話し理解を深めるように努めています。</p> <p>② 職員の質の向上に向けて研修に力を入れています。特に外部研修は階層別などの研修計画を年度初めに立案し、法人本部に計画を提出しています。研修実施後は年度末に実施状況報告書で本部に報告しています。研修の受講者は研修報告書を作成し、職員会議などで報告し、回覧もして研修の情報を共有しています。</p> <p>③ 実習生は「実習生受け入れマニュアル」に基づき受け入れを行っています。オリエンテーションで、保育理念や実習中の個人情報の保護や子どもの人権擁護の注意事項などを説明しています。個人情報の取り扱いについては誓約書を得ています。今年は5校から実習生を受け入れています。保育の実習生で本園に入職した職員もいます。</p> <p>④ ボランティアの受け入れも「ボランティア受け入れフロー」と「ボランティア受け入れ手順書」に基づき受け入れる仕組みがあります。オリエンテーションで注意事項などを説明し、受け入れています。</p>



## 2. 評価項目に基づく評価の結果

### 大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体を通してのサービスの達成状況 (調査確認事項全80事項)	99%
---------------------------------------	-----

#### 大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重 (8事項)	①子どもや保護者に対する態度や言葉遣い (3事項)	3/3	8/8
		②出生や国籍、性差などによる差別の禁止 (3事項)	3/3	
		③虐待予防や早期発見のための関係機関との連携 (2事項)	2/2	
2	プライバシー確保 (7事項)	①プライバシー確保への配慮 (3事項)	3/3	7/7
		②実習生などへのプライバシー確保 (3事項)	3/3	
		③個人情報保護の体制整備 (1事項)	1/1	
3	家庭と保育園との 信頼関係の確立 (6事項)	①家庭との連絡、情報交換の体制 (2事項)	2/2	6/6
		②家庭の意向・希望の把握 (2事項)	2/2	
		③意向・希望の記録・管理 (2事項)	2/2	
4	苦情解決システム (8事項)	①苦情解決の担当者・責任者の公示 (2事項)	2/2	8/8
		②苦情解決の記録 (2事項)	2/2	
		③第三者委員に設置、実施 (3事項)	3/3	
		④理事会への報告 (1事項)	1/1	
5	環境整備 (8事項)	①温度や湿度等の管理 (2事項)	2/2	8/8
		②洗剤等の危険物の管理 (2事項)	2/2	
		③おもちゃ、遊具等の管理 (2事項)	2/2	
		④遊具などの安全保持 (2事項)	2/2	
6	健康管理(感染症対策 ・救急救命を含む) (14事項)	①体調不良児、けがへの対応 (2事項)	2/2	14/14
		②体調不良児への対応 (2事項)	2/2	
		③ケガなどへの対応 (2事項)	2/2	
		④感染症予防への情報提供 (3事項)	3/3	
		⑤感染症発生時の対応 (2事項)	2/2	
		⑥救急事態発生時の医療機関・家族等との連携 (3事項)	3/3	
7	危機管理(防災・防犯) (8事項)	①火災や震災等の対応 (3事項)	3/3	8/8
		②日常の防災・防犯体制の整備 (2事項)	2/2	
		③災害発生時の地域支援体制 (3事項)	3/3	
8	地域の子育て支援 (6事項)	①地域内の子育てニーズの把握と支援 (6事項)	6/6	6/6
9	自己評価と情報開示 (6事項)	①自己点検・改善活動の実施 (2事項)	2/2	6/6
		②地域への情報提供、情報開示 (2事項)	2/2	
		③見学や保育参観の機会の設定 (2事項)	2/2	
10	職員研修 (9事項)	①理念などの職員への研修実施 (3事項)	2/3	8/9
		②年間を通しての研修計画 (2事項)	2/2	
		③外部研修の共有化 (2事項)	2/2	
		④実習生の受入れ、指導 (2事項)	2/2	

79/80

## 大項目 2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(1) 子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 個々の生活リズムや家庭環境を日々の記録簿から読み取り個別対応している。</p> <p>② 個々の要求を十分受け入れ一対一の関わりを心がける。</p> <p>③ 楽しい雰囲気の中で食事をするように努めている。</p>	<p>① 0歳児クラスの年間目標は「一人ひとりの生活リズムを大切にし、保育士と信頼関係を築き、心身共に健康に過ごす」となっています。園では全園児に連絡帳を使用して一人ひとりの生活リズムや家庭環境を把握して、適切な援助ができるようにしています。0歳児月間指導計画の保護者支援欄には、記録簿や口頭で子どもの様子を伝え合うことや、離乳食の進め具合や自分で食べようとする意欲の大切さなどを伝え合うことが記載されています。家庭と連携を取りながら、個別に子どもの発達を促しています。</p> <p>② 0歳児クラスでは年間を通しての発達を把握し、適切な援助を行うために子ども一人ひとりに担当保育士を決めています。日常の保育時間には担当者を中心としてクラス担当者みんなで関わりを持ち愛着関係を築きながら保育にあたっています。1歳児クラスの目標は「安心できる保育士とのかかわりの中で、自分でしようとする気持ちを育てる」としています。一人ひとりと十分に関わり、甘えを受け止めつつ、応えていき、次の行動につなげられるように支援をしています。</p> <p>③ 園の保育方針の一つに「計画的に食育を実践し食べることの楽しさを十分味わえるようにしていきます」があります。日々の丁寧な手作り給食に加えて、楽しい雰囲気の中で食事ができるように取り組んでいます。子どもたちがプランターや畑でピーマン、里芋・しそなどを育て、収穫した作物は食材によってホットプレートで焼いて食べたり、素材そのものの味を味わう体験をしています。行事献立をバイキング形式にする、縦割りクラスで食べるなど工夫して、楽しく食事ができるようにしています。</p> <p>(入園のしおり、指導計画、栽培・食育年間計画、クラスだより、ヒアリング、写真、観察で確認)</p>

<p>(2) 子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを心もてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① トラブルの仲立ちを通してお互いの気持ちを十分に受け止めると共に相手の気持ちを代弁することで他者の気持ちに気づかせている。</p> <p>② 生活発表を通してダンスで身体表現をしたり、言葉で自分の気持ちをみんなの前で発表する機会がある。</p> <p>③ 日常の保育の中で自他共に良い所を認められるような関わりを持っている。</p>	<p>① 5歳児6月指導計画では月のねらいが「友だちとのやり取りを通して、新しい考えを知るおもしろさを味わう」となっています。トラブルの際は、まずは子ども同士で意見や気持ちを伝え、相手の思いに少しずつ気づき子どもたちで解決できるよう、見守っています。上手く気持ちを表現できない時などは、保育士がお互いの思いを表現できるように関わり、考えの違いや相手の思いに気づけるように援助しています。</p> <p>② 毎年12月にはクリスマス発表会を行っています。今年の5歳児クラスでは「エルマーの冒険」をもとに劇を作り発表する予定で、子どもたちがそれぞれに絵を描いてイメージを膨らませ、話し合いながら振り付けを考えています。また、朝の会ではお当番は子どもたちや保育士の質問に答えて、前日の出来事などを発表する場面を設けています。誕生会では誕生月の子どもに「大きくなったら何になりたいかな？」などの質問をし、子どもは張り切って答えています。</p> <p>③ 延長保育の時間は0歳から5歳児が一緒になる時間帯もあり、大きい子どもが小さい子どもと一緒に遊んでいる場面が良く見られます。両親のどちらかが外国籍の子どもが数名在籍していますが、子どもたちは文化や生活習慣の違いなどを認め自然に受け入れています。また、1歳～5歳児クラスの園児数は18～19名とほぼ同じであるため、入園から卒園まで、顔触れがあまり変わらず、お互いのことをよく知って仲良く過ごしています。</p> <p>(指導計画、ヒアリング、写真、観察で確認)</p>
<p>(3) 子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 縦割り保育を定期的に入れ異年齢児の関わり持つ。</p> <p>② ほのぼの・施設訪問・同施設2階診療所誕生会(地域のお年寄りの方との触れ合い)を通して優しくしてもらったり感謝される経験をする。</p> <p>③ 集団遊びを通して友だちや保育士と遊ぶ楽しさを味わう。</p>	<p>① 幼児クラスは週1度ほど、縦割り保育を実施しています。縦割りのグループは日課の内容によって、3グループや2グループに分かれて活動しています。園では年間を通して地域の高齢者との交流を持っています。</p> <p>② 近隣の高齢者グループホームやデイサービスに4・5歳児が縦割りクラスで出向き、手遊びや歌、ダンスなどを披露し、高齢者とのふれあいの機会となっています。また、同施設2階の診療所入院患者誕生会や町内会館での高齢者との交流を通して、優しくされたり、感謝される経験を積み重ねて人とかかわる楽し</p>

		<p>さを感じています。</p> <p>③ 9月指導計画週案には年齢に応じた集団遊び、ボール・フラフープ遊び（2歳クラス）、あぶくたった（4歳クラス）、リレー、ドンジャンケン（5歳クラス）などを保育士や子どもが一緒になって楽しんでいます。</p> <p>（パンフレット 指導計画 縦割り保育年間計画 ほのぼの年間計 ヒアリングで確認）</p>
<p>(4) 生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 紙芝居や読み聞かせをし言葉のやりとりを楽しむ。</p> <p>② ごっこ遊びや伝承遊びを保育士と一緒にやる。</p> <p>③ 自分の思いや体験したことをゆっくり聞く機会を持つ。</p>	<p>① 園では2歳児以上の子どものご家庭に月間絵本を購入してもらっています。月間絵本は園で読んだり、家庭に持ち帰って親子で本を読む時間を楽しんでもらっています。0歳児では、繰り返し絵本を見たり、日々の挨拶で言葉を覚え、真似しようと言葉を発するなど楽しみながら、言葉のやりとりを身につけています。</p> <p>② 保護者や地域住民も参加する9月の愛児園まつりでは、5歳児クラスがお店屋さんになって、保護者や子どもたちにアイスクリームや本物のポップコーンなどを売りました。子どもたちはお店屋さんになりきって、保護者や保育士も一緒に楽しみました。</p> <p>③ 5歳児クラスでは自分の思ったことや経験したことをみんなの前で発表する機会を作っています。上手く話せない子どもや言葉に詰まってしまったときには保育士が質問をする等して自分の言葉で発表できるように支援しています。子どもたちが体験したことをお互いに話し、聞くなかで、自分なりの言葉で話せるように保育士が援助しています。</p> <p>（指導計画、ヒアリング、写真で確認）</p>
<p>(5) 生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組み</p>	<p>① 言葉遊びで絵本の言葉を繰り返す言う。</p>	<p>① 0歳児9月月間計画の言葉欄には「繰り返しのある絵本を見たり、日々の挨拶で言葉を覚え、真似しようとする」、環境欄には「絵本を読む機会を作る。言葉の繰り返しがある絵本を用意する」、予想される子どもの活動欄には「挨拶をする時、頭を下げたり、絵本をじっと見る。知っている言葉を発する」と記載され、子どもたちが絵本を楽しみ、言葉への興味を持ち始めていることがうかがわれます。</p>

<p>みをしていますか</p>	<p>② 自分の思いや考えを話せるような取り組みを行う。</p> <p>③ 歌ったり踊ったりを十分楽しむ。</p>	<p>② 2歳児クラスでは、子どもの語彙が増えるような繰り返しや挨拶等の出てくる絵本を取り入れるなど、自分の思いを話せるよう言葉につなげることを取り入れています。上手く伝えられずにいる子には、どう言えば良いか、思いを伝えるきっかけを作るなどして対応しています。</p> <p>③ 毎月、年齢や季節に応じた様々な歌や手遊び、リズム遊び、体操や踊りを楽しんでいます。2歳児の7月には「七夕・水遊び・海」3歳児11月は「どんぐりころころ・焼き芋グーチャーパー・虹・たきび」、5歳児11月は「肩たたき・山の音楽隊・どうぶつじまへいこう」といった季節の歌を楽しんでいます。歌詞の楽しさや面白さ感じながら、思いきり歌ったり、踊ったりすることで言葉や動作によって、自分を表現する喜びが味わえるように援助しています。</p> <p>(指導計画、写真、ヒアリングで確認)</p>
<p>(6) 生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 興味を持てる素材や様々な材料を用意し発想を豊かにする。</p> <p>② ピアノや音楽に合わせて自由に身体表現する。</p> <p>③ 人に見てもらおう楽しさを知らせる。(運動会・発表会・作品展・触れ合う会・ほのぼの等)</p>	<p>① 5歳児クラスでは夏の水遊び用に、プリンやシャンプーの空容器で製作を楽しんでいます。『私はケーキ』『〇〇はロケット』とそれぞれに好きな物を作り、楽しんでいます。保育士は子どもたちが自由に自分で考えながら、製作を楽しめるように援助しています。</p> <p>② 3歳児クラスでは「人間っていいな」の歌に合わせて、子どもたちが自分で振り付けをして楽しく踊っています。保育士は子どもたちの発想を大切に褒めて自信につなげています。</p> <p>③ 運動会・愛児園祭り・クリスマス発表会・作品展・地域の高齢者との交流会などさまざまな場面で、体操の成果や作品、歌や踊りなど発表して子どもたちの意欲を育てています。</p> <p>(指導計画、写真、ヒアリング、観察で確認)</p>
<p>(7) 生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにす</p>	<p>① 体操・リトミックを取り入れてみんなで行う楽しさを味わう。</p>	<p>① 園ではリズム遊びとして各年齢に合わせたリトミックを取り入れています。調査日には2歳児がホールでリトミックを楽しんでいました。保育士の弾くピアノ伴奏に合わせて、走ったり、歩いたり、止まったり、とんぼになったり、思い切り体を動かして生き生きと動き回っていました。</p>

<p>ること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>② 行事等でみんなで同じ目的に向かって取り組む楽しさを味わう。</p> <p>③ 身近な廃材や様々な材料を使って自由に表現して作る楽しさを味わう。</p>	<p>② 友だちと気持ちを一つにして表現する喜びや、競い合う楽しさを味わえるようにしています。みんなで一緒に体操をしたり、音楽に合わせて踊るなど一緒に取り組む楽しさを味わえるよう、保育士も一緒にやることで子どもたちに伝えています。愛児園祭りや、運動会練習の中では友だちや異年齢児との関わりを楽しめるように、一緒に取り組む時間や集団遊びを行っていくことで遊びを楽しみ、関わりをたくさん持つようにしています。</p> <p>③ 製作の際は、様々な素材に触れ、自由に作ることを楽しめるように、5歳児クラスの自由工作ではまず何を作りたいか子どもたちが意見を出して作るものを決めています。ミニボトル、三角や円柱のコルク、ペットボトルキャップ、ストロー等の廃材とペンやシールを用意し子どもたちはイメージを膨らませながら製作に取り組んでいます。一人ひとりが自分なりに工夫して、自由に作品作りを楽しんでいます。</p> <p>(指導計画、保育日誌、写真、ヒアリング、観察で確認)</p>
<p>(8) 生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 戸外保育を積極的に取り入れ自然に触れ様々な物を見たり聞いたりする経験をする。</p> <p>② 体操教室を通して出来なかった事が出来るようになったり身体を動かす楽しさを味わう。</p> <p>③ 絵本や紙芝居を読んだり、見たりしながら話の物語をイメージする事を楽しむ。</p>	<p>① 園には日当たりが良く広い園庭があり、毎日、園庭に出て遊んでいます。また、どのクラスも週に1回ほど近隣の公園や小川に出かけています。季節の草花や木々、虫やザリガニなどで遊び、持ち帰って製作物の材料などにしています。5歳児クラスには小さな図鑑が人数分あり、散歩時には子どもたちがそれぞれに首にかけて出かけ、図鑑を使って名前を調べては楽しんでいます。</p> <p>② 幼児クラスは毎週1回、外部講師によるクラスごとの体操教室があります。3歳児5月クラスだよりには「体操教室が始まって1か月が経ちました」のタイトルのもと、子どもたちが楽しみにしていることや、背の順に並べるようになってきたことを保護者に報告しています。</p> <p>③ 絵本や体験したことから、創造して話を広げています。また自分のイメージを伝えつつ、友だちの話も聞けるようにしています。保育士は子どもの自由な発想を大切にし、ありのままを受け止め、創造することが楽しいと感じられるよう子どもに声かけしたり、話を聞くようにしています。子どもの考える話を大切に受</p>

		<p>け止め、話す意欲を持てるようにしています。また、行事の後に「楽しかったこと」をみんなの前で発表して、思い出を「絵」に描いています。</p> <p>(指導計画、ヒアリング、観察で確認)</p>
<p>(9) 生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 一緒に虫を探したり植物、野菜の栽培をし関心を持つ。</p> <p>② 月間本を通して身近な事象について詳しく知る楽しみを味わう。</p> <p>③ 保育室に図鑑等用意し、子どもたちが自ら調べられる環境を作っている。</p>	<p>① 園庭には大きなイチョウの木やブドウの木などが植えられ、季節の変化を感じられる環境です。園庭の端には畑があり、子どもたちは水やりを手伝ったりしてピーマンやさつま芋など季節の野菜を育てています。また、近隣には自然に恵まれた公園や小川があり、子どもたちは図鑑を持って出かけ虫や植物の名前を調べて楽しんでいます。5歳児クラスは6月、「平作川で遊ぼう」を計画し、アメンボを捕まえ、するめいかを餌にザリガニ釣りを楽しんでいます。</p> <p>② 毎月、2歳児以上の子どもが購入している月間絵本には子どもたちが興味を持っている自然や食べ物、乗り物など種々の事柄が掲載されています。保育士は絵本を活用しながら、子どもたちがいろいろな事象に興味を広がるように援助しています。</p> <p>③ 5歳児クラスの本棚の一角には、小さな携帯用の図鑑が人数分並んでいました。図鑑には紐がついていて首にかけられるようになっています。子どもたちは散歩に出かける時や、何か調べたいときにはこの図鑑で調べています。</p> <p>(行事計画、月間本、観察、ヒアリングで確認)</p>
<p>(10) 自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする。</p>	<p>① 園では完全給食、季節感を意識した献立、行事食の充実、食育など食の充実に力を入れています。食事は楽しい雰囲気の中で苦手な物も少しずつ食べようと思えることを目指し、食材に触れたりにおいを感じたりして食材への興味を持てるようにしています。2歳児クラスから、保育士も同じ食事を一緒に食べながら子どもたちと楽しく会話しています。食事量は子どもによって調整しています。苦手な物も勧めてみますが無理強いはしません。ほとんどの日に果物などデザートがついて子どもたちの楽しみになっています。</p>

	<p>② 野菜栽培、調理体験を通して食に関心がもてるようにする。</p> <p>③ 排泄に関しては、個々のペースで無理のないように進めると共に自分で排泄することの心地良さや気持ち良さを伝えていく。</p>	<p>② 園庭の端には畑があり、園舎の日陰に部分にはシイタケが発生する木が置かれています。栽培・食育の年間計画及び実施記録にはねらいの一つに「収穫した野菜に親しみを持ち、調理体験・給食の食材として調理してもらい味を楽しむ」と記載されています。各年齢の年間・月間指導計画には食育欄が設けられており、年齢や季節に応じた野菜を栽培し、収穫して調理をするまでの様々な取り組みが記載されています。そのなかで、5月には園庭で育てているそら豆と給食で使うそら豆の皮むきをしてどちらも同じと確認し、8月にはトウモロコシの皮むき、9月に4歳児クラスではピザパンを作り、給食室で焼いてもらって、おやつに食べています。食材に触れたり、食べることで食に対する興味や関心を高めています。</p> <p>③ トイレトレーニングは家庭と連携しながら、子どものペースに合わせて進めています。0歳児には、こまめにおむつを取り替えてきれいになった心地よさを感じるようにしています。2、3歳児は状況を見ながら個別に対応し、トイレで排泄できる気持ち良さや上手く出来た時の自信につながるような関わりをしています。保護者と家庭での様子、園での様子を密に伝え合い進めています。</p> <p>(指導計画、ヒアリングで確認)</p>
<p>(11) 身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 一人ひとりの成長段階を踏まえ出来る事、出来ない事を見極めながら適切な援助を行いながら、一つ一つできる事を増やしていく。</p> <p>② 日々の生活の中で食事・休憩の大切さを伝えている。</p>	<p>① 基本的な生活習慣は徐々に身につくように家庭とも連携を取りながら行っています。トイレでの排泄は3歳児の5月頃にはほとんどの子どもができるようになり、その後は拭く、流すなど自分たちで行えるように支援しています。また園での箸の使用はスプーン、フォークを正しく持ててから始めること、パジャマに着替える時にボタンを留める練習をすることなどを保護者にも伝え、保育士は個々の成長に合わせた援助を行っています。</p> <p>② 年齢や発達段階に応じて休憩や水分補給の大切さを伝えています。保育士は水分補給や日陰で休憩する場を作り、自分から進んで出来るよう子どもたちに伝え、子どもも自ら『お茶飲めます』と言って水分をとったりベンチやテラスに座って個々に体を休めるようにな</p>



	<p>③ 食事 3色マットを使い食材がもたらず体の仕組みについて知る機会を設けている。</p>	<p>っています。子どもの表情や活動をしっかりと見守り遊びに夢中な子には水分補給を促すようにしています。</p> <p>③ 5歳児クラスには食事の3色マットが展示されていました。赤、緑、黄色の食物がどのような栄養になるのか一目でわかるようになっていました。布製の肉や魚や野菜、ご飯などがいくつも用意しており、色のところに貼り付けるようになっています。給食の前に献立を見て、当日のお当番がみんなの前で確認しています。</p> <p>(指導計画、クラスだより、ヒアリング、観察で確認)</p>
--	---	--

### 大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(1) 子どもの豊かな心と身体をはぐむための特徴的取り組みについて説明してください</p>	<p>① 周辺の自然環境を日々保育に取り入れている。・平作川ザリガニ釣り・菖蒲園・消防署見学・防災センターあんしんかん</p> <p>② 体操教室を導入し専門的に様々な遊具を使って身体運動に取り組んでいる。</p> <p>③ 地域交流、同法人の他施設との交流、職場体験ボランティア等様々な人の関わりがある。</p>	<p>① 園は三浦半島の真ん中に位置し、温暖な気候と自然環境に恵まれています。周辺には菖蒲園や桜の大木がある公園、小川などがあります。子どもたちは川での水遊びやザリガニ釣り、公園では花や虫探し、木の実、落ち葉などで季節の移り変わりを楽しんでいきます。また、近隣の消防署に散歩の際に立ち寄ることもあります。横須賀市民防災センターには年に1回年長クラスが公共交通機関を使って見学に行っています。</p> <p>② 平成26年度から子ども体操クラブの選任講師による体操教室を取り入れています。3・4・5歳児クラスが週に1回、30分ほどクラスごとに年齢に応じた体操に取り組んでいます。毎月、年齢ごとのカリキュラムが出され、10月の3歳児クラスでは、縄跳び、跳び箱、マットの基本動作、5歳児クラスでは組体操、縄跳びのしゃがみとび、鉄棒の腕懸垂や逆上がり、円形ドッチボールなど体の発達に沿った運動に挑戦しています。</p> <p>③ 地域交流を積極的に展開しています。「ほのぼのくらぶ」として5歳児が近隣の高齢者と年6回、町内会館で様々な遊びを一緒に楽しんでいます。園行事の「ふれあう会」では園に高齢者を招待して歌や踊りを披露した後に4・5歳児とカレンダーづくりをしています。「にこにこくらぶ」として、5月から月に1回、地域の未就学児の家族を招待して、保育園ならではの遊びの紹介や同年代のクラスに入って遊んでいます。母親同士の交流の場にもなっています。</p> <p>(パンフレット、写真、ホームページ、チラシ、アンケート、ヒアリングで確認)</p>
<p>(2) 保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、</p>	<p>① 職員全体で配慮の必要な児や家庭の情報を共有し園全体で柔軟に対応している。外国籍の家庭には、その国の慣習も考慮しつつ個別に対応している。</p>	<p>① 特別に配慮が必要な子どもについては職員会議等で子どもや家庭の情報を共有して、職員全体で統一した対応が取れるように努めています。職員会議は夜間に行い、できるだけ多くの職員が参加できるように工夫しています。外</p>

<p>外国籍園児)の保育に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>		<p>国籍の子どもや保護者については個別に丁寧に対応しています。文化の違いによる食事への配慮や、言葉が通じにくい場合は個別に丁寧な説明で伝えるなど工夫しています。長時間保育園で過ごす子どもを考慮し午後の間食は手作りのホットケーキやラーメン、おにぎり、サンドイッチなどを提供しています。保護者への伝達漏れがないように、「残留ノート」を使用して漏れないように努めています。また、保育終了時間は19時ですが、交通機関の遅れなどやむを得ない事情の際は柔軟な対応を取っています。</p> <p>(入園のしおり、保護者アンケート、献立表、残留ノート、ヒアリング)</p>
<p>(3) 健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関する特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>① アレルギー疾患を持つ児に対する対応としてアレルギー生活管理指導表を提出の上、保護者、栄養士、担任、園長と面談を行いアレルギーの食材の除去を行っている。聞き取りをした内容をアレルギー面談記録として書面に残り全職員に周知としている。食器も区別がつくように分けている。</p> <p>② 離乳食は、個々に合わせて無理なく進めている。</p>	<p>① 卵や乳、小麦、ピーナツ、アーモンドなどにアレルギーのある子どもが在籍しています。保護者から医師の診断書と生活管理指導表を提出してもらい、除去食または代替食を提供しています。保護者、担任、栄養士、園長で随時面談を行い、情報を全職員で共有しています。数種類のアレルギー献立表を作成し、調理器具も別にしてあります。いくつもの種類に分けて細心の注意を払って調理し、重篤なアレルギー児にも対応できるように、調理室を2か所用意してあります。食事は個別のテーブル付き椅子や専用の食器を用意して保育士が付き添い、複数回の声出し確認を行って誤食防止に努めています。</p> <p>② 生後57日からの乳児を受け入れており、離乳食は5ヶ月～6ヶ月(ゴックン期)7ヶ月～8ヶ月(モグモグ期)9ヶ月～11ヶ月(カミカミ期)12ヶ月～18ヶ月(パクパク期)の4種類を提供しています。連絡帳や送迎時の会話から保護者と連携しながら、一人ひとりのペースに合わせて離乳食を進めています。</p> <p>(入園のしおり、献立表、給食会議録、アレルギー関係資料、ヒアリング、観察で確認)</p>

<p>(4) 食に関して の特徴的な取 り組みについ て説明してく ださい</p>	<p>① 季節に応じた食材に触れる機会を持つ(とうもろこしの皮むき・そら豆の皮むき)、畑の作物の成長を見る</p> <p>② 行事食の由来を伝え楽しく食べる。</p>	<p>① 園では食の充実に力を入れ、食に関する様々な取り組みを実践しています。庭の一角には畑があり、園舎の日陰部分にはシイタケが発生する木が置かれています。栽培・食育を同時に進めるための「栽培・食育年間計画及び実施記録」をもとに年間を通して野菜や花を育て、収穫して自分たちで調理したり、給食の材料に使ってもらうなどの体験をしています。調理室の協力を得て5月には各クラスでそら豆の皮むきをしています。園庭で育てているそら豆を見て同じものと確認し、給食ではサラダの中のそら豆を見つけています。8月にはとうもろこしの皮むきや畑の小玉スイカを収穫し、みんなで味わっています。4歳児クラスでは9月にピザパンを作り、給食室で焼いてもらっておやつに食べています。</p> <p>② 献立の中に季節ごとの行事を入れて、子どもたちに行事食の由来などを伝えています。献立表にも行事食の解説を載せて保護者にも伝えています。10月の献立表にはおやつにお月見団子を入れ、献立表に「お月見」について掲載しています。1月には「七草がゆ」を入れ、子どもたちは七草の歌に合わせて七草を叩き、由来を知る体験もしています。</p> <p>(献立表、園だより、栽培・食育年間計画及び実施記録、給食会議録、食育記録、保護者アンケート、観察、ヒアリングで確認)</p>
<p>(5) 家庭とのコ ミュニケーシ ョンについ て説明してく ださい</p>	<p>① 連絡張のやりとりを通し子どもの成長を伝える。</p> <p>② ホワイトボードに一日の出来事を知らせ共感し合う。</p>	<p>① 全園児に連絡帳を使って家庭との連携を密にしています。年齢に応じて、必要な情報や子どもの成長の様子を交換できるように3種類を使用しています。0歳児は園所定の様式のものを使用し、詳細に記録し、1週間分をコピーして保護者に返却しています。1歳児は全体の様子や、食事、睡眠、排便などを記載したノート式、2歳児からはノート式のものに特記事項や必要事項を記載しています。連絡帳には万一の紛失などを考慮して、重要な個人情報に記載しないように職員、保護者の両方で注意しています。</p> <p>② 各クラスの出入り口横には小型のホワイトボードが展示してあり、本日のクラスの活動報告が記載されています。保護者は送迎時にボードを読んで今日</p>

	<p>③ インターネットによる写真販売を通して日々の保育の様子を知ってもらう。</p>	<p>の活動内容を知り、子どもや保育士との会話が弾みます。このボードの横にはクラスごとの大切な連絡やお願い事項を記載したボードも置かれて、保護者へ連絡漏れが無いように工夫しています。</p> <p>③ 園での子どもたちの様子を、家庭で知ってもらうために、行事や日々の子ども様子を随時、写真に撮って各クラスの様子としてインターネット上に掲載し、パソコンやスマートフォンからの閲覧、販売ができるようにしています。専門業者と契約しており、保護者は登録をすると写真購入の有無にかかわらず、子どもたちの様子がわかるようになっています。</p> <p>(連絡帳、ホワイトボード、写真契約資料ヒアリング、園だよりで確認)</p>
--	---	---

<p>(6) 地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① にこにこくらぶ(未就園児親子対象)給食試食</p> <p>② 育児相談</p> <p>③ 未就園児の行事参加</p>	<p>① 「にこにこくらぶ」の名称で地域の未就園児親子対象に、子育て支援事業を展開しています。ホームページや近隣の商店などにポスター展示を依頼して情報提供をし、4月、8月を除いて毎月1回実施しています。ポスターには年間の予定を記載し、参加しやすい工夫をしています。毎回1・2歳児中心に2～5組ほどの参加者があります。参加の子どもと同じ年齢のクラス活動に入って、子ども同士の関わりを楽しんだり、保育園を体験できる場になっています。また、保護者同士の交流の場にもなっています。活動内容は園の行事やお楽しみ会、水遊び、散歩、戸外遊び、ひな人形製作など様々です。希望者には給食の試食もできます。終了後には相談したいことや、どのような活動に興味があるかなど、アンケートをとって今後の参考にしています。</p> <p>② 育児相談として、地域に向けて単独に実施してはませんが、「にこにこくらぶ」参加中に離乳食や夜泣き、絵本の選択などの相談を受け、丁寧に対応しています。参加者の中には、継続して参加をしている親子も複数おり、保育士とも親しくなり相談しやすい環境が出来ています。</p> <p>③ 愛児園祭りや運動会、年1回行う園時のおたのしみ行事(「うたのお姉さんコンサート」「移動動物村」「人形劇」など)などに、近隣の未就園児を招待して、園児たちと一緒に過ごし、楽しんでいます。運動会では未就園児が参加する種目を用意しています。</p> <p>(パンフレット、保育課程、にこにこくらぶチラシ、運動会プログラム、ヒアリングで確認)</p>
---	---	--



株式会社フィールズ  
〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル3F  
TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323